BUS DRIVER JOB INFORMATION

Driver's Interview vol.9

「バス運転手」という仕事。

函館バス株式会社
運転手 川井聖弘

２００８(平成20)年に函館バスに入社して17年目を迎えた川井聖弘さん。「この会社に入る前も、建築関係のトラックなど運転の仕事をずっとしてきました。大きい車を動かすのが好きな自分としては、バス運転手はある意味あこがれの仕事でもありました」路線バスの運転手になった当初、想像以上にバス停が多いことに戸惑い、休日を使って自主的にバス停の場所やルートを覚えた。「バスの場合、道を間違ってもUターンできませんからね（笑）。絶対にお客様に迷惑はかけられないし、早く慣れたかったので必死でしたね」

川井さんは「バス運転手は接客業」ときっぱりと言い切る。乗客を目的地まで安全に運ぶことも大事だが、人と人が接する部分も同じくらい大事にしたいという。「当然、お客様から訊かれたことには正確に答えられるように努力しますし、以前実際にあったんですが、お客様が体調を崩されたときに冷静に即時対処するなど、運転以外の部分も大事だと思っています」函館に限らずバス業界全体で運転手不足がささやかれて久しいが、川井さん自身は苦に感じる部分はさほどないと語る。「いま在籍している運転手の負担にならないように営業所で勤務シフト等も調整してくれてますし、休日も希望通りとれるよう配慮してもらってます。子どもの運動会とか自分が行きたいと思う家族の行事は大体休めますし。バス業界というと長時間労働や休みが取りにくいとかのイメージがあるかもしれませんが、全然そんなことはない。若い方々はチャレンジしがいのある仕事だと思います」。